



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発 行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 中川 孝文



vol. 341

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- | | |
|--------|----------------------|
| ○7月20日 | 第27回参議院選挙投開票日 |
| ○7月30日 | 中小労働関係セミナー（第3回） |
| ○8月5日 | 連合平和行動in広島（～6日） |
| ○8月8日 | 連合平和行動in長崎（～9日） |
| ○8月18日 | クラシノソコアゲ駅前街宣 |
| ○8月23日 | 中小労働関係セミナー（第4回） |
| ○8月30日 | 第25期連合徳島VST養成講座（第1回） |

中川会長代行（自治労）の開会あいさつのあと、委員会議長に阿佐地方委員（自動車総連）を選出。執行部を代表して島会長（電力総連）は「平和なくして労働運動なしとして私たちの幸せなし。ウクライナとロシア、イスラエルとイランの国際紛争をはじめ、その地域の平和を脅かすだけでなく、私たちの生活にも物価上昇という大きな波となって襲い掛かっている。2025春季生活闘争での、徳島県にお

連合徳島は2025年6月26日（木）、徳島グランヴィリオホテルにて2025年度連合徳島地方委員会を開催し、各構成組織などから77人（うち委任状3人）が参加した。なお、特別枠を含めた女性の参加は18人で23.3%であった。地方委員会では2025春季生活闘争の中間まとめ、2025年度後期の主要課題の方針および連合徳島の役員補充などを決定した。



新川口会長による団結ガンバロー

連合徳島地方委員会

「働くことを軸とする安心社会」を実現するために
2025年度後期主要課題の方針を確認
川口誠一 新会長が就任

くみん共済coop徳島推進本部・大谷本部長、連合徳島推薦国会議員・高橋永衆議員議員（立憲県連を兼ねる）、広田一参議院議員、国民民主党徳島県連・仁木幹事長から、また連合徳島議員ネットワークより庄野県議、長池県議、加村徳島市議、春田徳島市議、橋本阿南市議、阿佐吉野川市議にも一言ずつ挨拶をいただいた。

その後、一般経過報告と上半期一般会計報告が全体の拍手で承認された。つぎに、川口事務局長（情報労連）が第1号議案「2025春季生活闘争の中間まとめ案」、第2号議案「2025年度後期主要課題の取り組み方針（案）」を提案した。

質疑討論では、鈴木地方委員（自治労）から「7月20日投票開票の参議院選と同日に三好市では市長選があり、それに伴い竹内県議が持っていた議席の補欠選挙が行われる。その議席を守るために三好市職労連から元委員長（の細田博樹）さんが立候補する為、取り組んでいく。」松岡地方委員（自治労）から「とくしまピースネット80の取り組みとして、徳島大空襲があった7月4日を県条例で「県平和の日」として制定する為の署名活動への協力をお願いしたい」と発言があった。

執行部からはこの地方委員会に参加されている方の中には三好市に住民票があったり、親戚がいたりする方がいると思いますので1人でも多くの方にお声がけをしていただきたい。また、署名に関しても各構成組織を通じてお願いをしているところではあります。より一層広げていただきたい。」と答弁したのちに、採択された。

第3号議案「第27回参議院議員選挙必勝決議（案）」、第4号議案「連合徳島役員補充選挙について（案）」、第5号議案「表彰について（案）」を提案ののち、承認され、新旧役員挨拶ののち、地方委員会アピールを確認し、坊野副会長（自動車総連）の閉会あいさつの後、川口新会長の団結ガンバローで地方委員会を閉会した。

女性委員会の選出について多くの組織で取り組みがなされているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。○役員登用にあたる女性への声かけいきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

連合徳島女性員会は5月19日、28日の間に各構成組織に出向き、オルグを実施した。オルグでは①組合員の男女比率②三役・執行委員などへの選出状況③女性役員選出への意識や周囲の反応・空気観など④役員登用にあたる女性への声かけ⑤女性自身の抵抗など⑥女性役員がいることの変化⑦ジェンダー平等の取り組み⑧連合大会や中央委員会への代議員選出の取り決め⑨トップリーダー自らジェンダー平等推進について⑩女性役員育成・選出を目的とする研修や役員選出後のフォロー⑪連合女性委員会に対しての要望などについて聞き取りをした。主な内容については以下の通り。



発言する鈴木地方委員④と松岡地方委員⑥



オルグの様子

○女性役員の選出について多くの組織で取り組みがなされているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。○役員登用にあたる女性への声かけいきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

○女性役員の選出について多くの組織で取り組みがなされているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。○役員登用にあたる女性への声かけいきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

○女性役員の選出について多くの組織で取り組みがなされているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。○役員登用にあたる女性への声かけいきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

女性委員会の取り組み

女性委員会オルグ

連合徳島女性員会は5月19日、28日の間に各構成組織に出向き、オルグを実施した。

オルグでは①組合員の男女比率②三役・執行委員などへの選出状況③女性役員選出への意識や周囲の反応・空気観など④役員登用にあたる女性への声かけ⑤女性自身の抵抗など⑥女性役員がいることの変化⑦ジェンダー平等の取り組み⑧連合大会や中央委員会への代議員選出の取り決め⑨トップリーダー自らジェンダー平等推進について⑩女性役員育成・選出を目的とする研修や役員選出後のフォロー⑪連合女性委員会に対しての要望などについて聞き取りをした。主な内容については以下の通り。

○女性役員の選出について多くの組織で取り組みがなされているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。○役員登用にあたる女性への声かけいきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

徳島労働局要請行動

護休業法改正について説明会を実施し両立支援等助成金の活用を推進する、などの見解が出された。これらの回答を受けた後、意見交換が展開された。連合徳島からは「女性活躍推進のための課題を明らかにするよう事業主に指導徹底してほしい」「両立支援助成金では受給に時間がかかったり事務が煩雑になるため、申請を断念するケースもある。申請を簡略化するように検討を」などの意見が出された。

労働局は「労働者数に関わらず、男女間格差の改善にむけた要因分析・是正に努める。ハラスメント対策を強化するための助言・指導を徹底する」と述べた。



岡副会長から福島室長に手交



連合徳島

県労働部
島小労対策
徳中労対策

第5期労働関係セミナー

第1回

2025年5月22日に徳島県中小労働対策本部第5期労働関係セミナーの全4回の第1回目として「ハラスメント防止に関する事業主の責務と労働組合の役割」と題して、各産別から31人が参加のもと、ふれあい健康館にて開催された。

全4コマの開講にあたり、冒頭に中小労働対策本部

鹿草議長の開会挨拶を皮切りに、あわ共同法律事務所所弁護士篠原 健先生によるセミナーが行われた。ハラスメントには幾つもの〇〇ハラスメントと呼ばれるものがあるが、本セミナーにおいては、職場における「パワーハラスメント」について

第2回

中小労働対策本部は2025年6月20日（金）にふれあい健康館2階で第5期労働関係セミナーを開催した。

演題を「労働組合と政治活動」とし、講師に連合徳島推薦議員ネットワーク事務局から加村祐志事務局長をお招きした。まず初めに、第49回衆議院選挙結果についての与党の議席数と第50回衆議院選挙結果の与党の議席数を見ても政権交代までにならないとは言え、与党を過半数割れに追い込むことが出来た事のお話を拝聴した。それは全国の有権者の力、それを取り巻く労働組

て重点的に説明があった。職場における「パワーハラスメント」の定義として、職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であつて、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、①②③までの要素を全て満たすものが該当する。

上記を踏まえて過去の3件の裁判例を用いての説明があつたが、実際の裁判でも一審と二審で判決が逆になる等、パワーハラと業務上の教育・指導との線引きが難しい場合が多いとのことだった。

また近時の事例として、みんなの記憶にも新しい兵庫の力と改めて感じた。そして、臨時国会での学校給食の無償化などのお話、通常国会での高額医療費制度の負担上限額の引上げ凍結に関して、長期治療が必要な患者の負担を軽減する「多数回該当」の限度額引上げを見送ったことに伴い、衆議院で55億円が増額修正のお話等があり、次に徳島県下における様々な問題についても我々にとって普段の生活に関係することを解決していく必要があることを述べられた。

貴重な講演の後、現代社会において選挙離れを問われている中で、民意を示す



ものの一つとして「選挙に参加すること」を改めて繋げていくことが労働組合の役割であると感じ、実行に移すことを決意した。



セミナーを受ける参加者



講演を行う加村市議



セミナーを受ける参加者



講演を行う篠原弁護士

た。私事で蛇足な話だが、講師の篠原先生が偶然、中学校の同級生で成人式以来の再会となり、セミナーの開始前にお互い仰天するということがあつた。これを機に旧交を深めたいと思った次第である。

2025年度 連合四国ブロック 最低賃金委員会 学習会

2025年度連合四国ブロック最低賃金委員会学習会が、6月4日に高松市で開催され、連合徳島から最低賃金に係る委員8人が参加した。

開会にあたり連合本部

仁平総合政策推進局長は、「春季生活闘争は、2年連続で5%を超え中小においても5%近傍の妥結となっているが、トランプ関税が今後どのように影響するか見極める必要がある。また、価格転嫁・適正取引は増えてきているものの、まだまだ道半ばであり、引き続き注視していく。最低賃金については昨年、全国1,000円をめざし取り組みの結果、全国平均1,055円となったが、2020年代に1,500円をめざすとなれば、たゆまぬ

努力が必要となる。昨 year を超える水準の目安にこだわる。」と決意を述べられた。

その後、長江労働条件・中小地域対策局長より、2025年度最低賃金方針についての提起を受けた後、意見交換を行なった。休憩をはさみ、各県から昨年の地域別最低賃金の審議経過や課題について共有するとともに認識を合わせた。

今後開かれる審議会に向け、連合本部および四国ブロックが連携し審議会に臨むことを確認し会議を終了した。



学習会の様子

吉野川市議会議員選挙結果

2025年5月11日（日）告示、18日（日）投票の吉野川市議会議員選挙において、連合徳島が推薦する阿佐勝彦（無所属・現職）、山側紗矢香（立憲・新人）が当選を果たした。投票結果については次の通り。



当選確実を受けバンザイする阿佐市議



支援者と共に初当選を喜ぶ山側市議

i+1 わたしプラスもう1票

キミの一票で未来を拓こう

よくわかる!すぐわかる! 参議院選挙の投票方法

選挙区選挙

比例代表選挙

「候補者名」を書く

「候補者名」よりも候補者の得票になる「候補者名」を書く

投票箱

選挙区選挙

比例代表選挙

「候補者名」を書く

「候補者名」よりも候補者の得票になる「候補者名」を書く

投票箱

毎月05日はれんごうの日

投票日に行けない方は期日前投票

理由はなんでもOK

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定がある方
- 旅行などの予定が入っている方
- 入院や出産などでその日に投票に行けない方

投票できる期間 | 公示日の翌日から投票日の前日まで

投票できる時間 | 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ・繰下げあり

投票場所 | 選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」

詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください。